

学年	高校1年	教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2
教科書名	地理総合（東京書籍）			副教材名	新高等地図（東京書籍） 新詳地理資料 COMPLETE（帝国書院）		
コース・クラス	中高一貫、選抜・N進、 スポーツ・芸能						

I. 目標

1. 地理におけるさまざまな諸事象を多角的かつ的確に捉えるために、地図や各種資料を用いて効果的な地理力を養う学習を行う。
2. 世界の多様な生活文化の違いを理解するために、地形・気候などその地域の自然環境、農業や鉱工業をはじめとする産業構造を歴史的背景も含め、地理的視点を養う学習を行う。
3. 地理の諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や自然に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。
4. 模試での得点力と大学入学共通テストや難関私大の入試問題に対応できる実力を身につける。

II. 授業のねらい

1. 探究学習（萩・広島研修、修学旅行、IP等）と連携を図りながら、地理的な着眼点・探求力・解決力を養う。
2. 地理を通じた視点から政治、経済、国際関係、文化生活、地球科学等の幅広い素養を身に着ける。
3. 無駄な暗記は極力しないで、理論的考察から理解できる地理力を養う。

III. 授業の進め方

1. 受験を意識した過去問を授業の理解度に応じて提示し、地理において必要な事項を確認する。
2. 地図から得られる情報を大切にし、地図を読めるように毎時積極的に使用する。
3. 2年次以降の地理学習と受験を視野に入れた情報を提供し、学期毎に小テストを実施して知識の定着を図る。

IV. 学習上の留意点

1. 授業の予習より復習を重視し、学習した内容はその日のうちに確認すること。
2. オリジナルプリントを使用するが、教科書・地図帳等の教材準備は確実にすること。
3. 興味をもって授業に参加し、無関心で消極的な科目にしないこと。

V. 定期試験

- | | |
|-----------|---|
| 1学期 期末試験 | : 世界の民族と言語 世界の地形（大地形） 世界の地形（多様な地形） 世界の植生と気候 |
| 2学期 中間試験 | : 農業全般と工業全般 |
| 2学期 期末試験 | : 地球環境問題 資源エネルギー問題 |
| 3学期 学年末試験 | : 人口問題 食料問題 居住・都市問題 民族問題 |

VI. 評価の方法

各定期試験の得点、学期毎の小テスト、各種課題の提出状況や出席した授業参加の状況等を総合的に判断して評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第2編 国際理解と国際協力	小テスト 小テスト 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 地域による多様な文化・慣習の違いと、その背景にある民族性、宗教性を考察して理解する。 多様な文化の違いの背景にある自然環境を理解する。 地球の構造と大地形・小地形の形成を理解する。 大気の大循環によって生じる気圧帯を知り、降水・気温の地域的（緯度上）差違から気候区分を理解する。 ケッペンの気候区分を理解する。 雨温図とハイサーグラフを理解する。
	5	第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解 世界の民族と言語		
	6	2節 生活文化と自然環境 ①地形 世界の大地形 多様な地形		
	7	3節 生活文化と自然環境 ②気候 風の流れと降水の季節変化 世界の植生と気候		
二学期	9	4節 生活文化と産業 諸農業の特徴 工業立地の特徴	小テスト 中間試験 小テスト 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 農業や工業の立地条件を様々な要素から考察する。 近代農業の種類と自給的農業と輸出を前提とした企業的農業の存在と、アグリビジネスの世界展開を理解する。 資源の一次産品と工業生産のグローバル化を理解する。 大気と海におきている環境問題を理解する。 森林減少と砂漠化の拡大を考察し理解する。 資源の偏在性と資源ナショナリズムを理解する。 原発の問題と新しいエネルギーの現状を理解する。 多角的に環境問題をとらえ、SDGsの意義を理解する。
	10	第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 水資源・生物多様性をめぐる問題		
	11	2節 資源・エネルギー問題 日本の資源・エネルギー問題		
	12			
三学期	1	3節 人口問題 日本の人口問題	小テスト 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 途上国の多産多死から先進国の少産少死のメカニズムを理解し、将来における我が国の人口問題を考察する。 途上国の食糧不足と先進国の飽食の背景を理解し、我々がどのように取り組むことで解決できるかを考察する。 都市への人口集中と地方の過疎化を踏まえ、世界各地でおきている都市問題を理解する。 世界の民族問題を理解し、なぜ民族問題がおこるのか、その歴史的背景を考察する。
	2	4節 食料問題 食糧問題の解決に向けて		
	3	5節 居住・都市問題 途上国のスラムと都市の再開発		
		6節 民族問題 民族問題をどう乗り越えるのか		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の状況により変更することもある。

※ 大学受験を前提に系統地理の基本事項を優先するため、第2編から導入した。